

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		成人式典開催事業						予算事業名		成人式典開催事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	慣例式典（通過儀礼）				
			10	05	01	1101	経常経費						
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり（教育・文						事業の区分	主要事業				
		4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり（生涯学習・地域教育・											
		③青少年の健全育成						担当課係等	生涯学習課				
事業期間		継続（昭和29年度～令和 3年度）							生涯学習係				
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
新成人自身で成人式典を企画・運営することを通して、成人としての自覚、郷土への愛着や関心を深めさせ、人生の節目となる成人式への参加を通して、これまでの自分を見つめ直し、将来に対する決意を新たに作るきっかけの場となるよう、市としてサポートしていく。							成人式典は、国民の祝日に関する法律の施行を契機に、各自治体で行われている。本市での直近の3年の平均出席率は75%である。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
新成人より成人式典実行委員を選出し、実行委員会を組織する。数回の全体会議を設け、その中で成人式典の役割分担や新成人のつどいを企画し、式典当日の運営を行う。							当市在住及び出身の新成人者						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							令和 4 年 4 月に成人年齢が 1 8 歳に引き下げられることに伴い、成人式典の対象年齢および実施時期について検討の必要がある。2 部の新成人のつどいに関して、現在は各中学校のパフォーマンスをおこなっているが、今後中高一貫校への入学者の増加等に伴い二部の構成及び成人式典の実行委員の選出についても検討が必要である。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
成人式典の開催 実行委員会の開催				成人のつどい（仮称）の開催 実行委員会の開催				成人のつどい（仮称）の開催 実行委員会の開催					
■事業費													
			R01年度		R02年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	1,533	1,602						
歳入計（千円）			1,533		1,602								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）								
	07	報償費	517		567								
	10	需用費	141		171								
	11	役務費	48		47								
	12	委託料	626		599								
	13	使用料及び賃借料	201		218								
歳出計（千円）（A）			1,533		1,602								
伸び率（％）					4.50								
備 考	総合計画121ページ 予算書176ページ												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	実行委員会の開催	回	目標	7.00	7.00	7.00
	8月より順次、月に1回～2回の実行委員会を開催する。		実績	7.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	成人式典出席率	人	目標	80.00	80.00	80.00
	成人式典に出席した成人者割合。		実績	81.34	0.00	0.00
		%	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	慣例事業であるとともに、市全体として新成人者を祝福するために必要な式典である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	実行委員会については主が学生であるため、式典準備の関係上行政の関与は必要である。
	手段の妥当性	A 妥当である	県内他市町村においても、新成人者で実行委員会を組織し進めているケースが多い。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	実行委員はボランティアで参加しており人員効率は良いが、2部の新成人のつどいの内容やコストについては、改善の余地がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	新成人の約8割程度出席している。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	成人式典の出席率に関しては、大学進学・就職に伴い市内外への出入があるため、向上余地があるか計れない部分がある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	実行委員会を組織し、成人式典を開催している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
実行委員会組織による企画・運営にあたり、現在は各中学校から成人式典実行委員会の委員選出をお願いしているが、対象年齢になった際、地元を離れており精力的な参加が望めない場合が多い。今後選出方法に関しても検討する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
SNSや広報を用いた成人式典実行委員の募集や、新成人への広報活動が必要である。実行委員は年代ごとで考え方も変わってくるため、前年にとらわれず、その年の実行委員の色を出した式典に出来るように運営を手助けをする。また、進学にあたり市外に住んでいる実行委員でも参加できるような仕組みづくり（Webを用いた会議）も今後検討していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 令和4年4月の成人年齢の18歳引き下げに伴い、成人式典の対象年齢及び内容を検討し決定しなければならない。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	